

氏 名：根岸 薫

学位の種類：博士（看護学）

学位記番号：甲第 261 号

学位授与年月日：2024 年 9 月 17 日

学位授与の要件：学位規則第 5 条第 1 項該当

論文審査委員：主査 小林 真朝（聖路加国際大学准教授）

副査 糟谷 知香江（聖路加国際大学教授）

副査 米倉 佑貴（聖路加国際大学准教授）

副査 麻原 きよみ（大分県立看護科学大学学長）

副査 グレッジ 美鈴（名桜大学大学院教授）

論文題目：修正版行政保健師の職業的アイデンティティ尺度作成と関連要因の検討

博士論文審査結果

審査における主な指摘は以下であった。

行政保健師の職業的アイデンティティに関する研究は様々な方法で実施されているが、行政保健師の職業的アイデンティティを測定できる尺度は、根岸氏が修士論文で作成した行政保健師の職業的アイデンティティ尺度:PISP (2010)以外にみられない。しかしながら、作成から 14 年が経過し、保健師を取り巻く環境や業務の複雑化といった変化を経て行政保健師の職業的アイデンティティを再考する必要性が生じた。本研究の目的は、行政保健師の職業的アイデンティティ尺度修正版を作成して妥当性と信頼性を検証し、関連要因について検討することである。

本研究では日本国内の自治体に所属する常勤の行政保健師を対象として自記式質問紙調査を行い、346 名を分析対象とした。探索的因子分析、確認的因子分析を経て、修正版行政保健師の職業的アイデンティティ尺度は【他者からの評価と自己尊重】【職業への適応と確信】【職業と自己の生活の一体化】【保健師としての価値観の保持】の 4 因子 16 項目となった。

審査では、文献のレビューが体系的にされている点や予備研究 I ～IV まで丁寧に積み重ねて尺度項目を検討している点が評価された。修正が必要な点として主に下記の内容が指摘された。

- ・本研究で行われている様々な分析について、仮説なしに探索的に分析されており、尺度開発の研究として不適切である。分析の意図が分からないものがあり、目的をもった分析が必要である。
- ・既存尺度にあった「行政職としての意識」について、因子ごと削除しているがその適切性を検討すること。
- ・健康関連 QOL (SF8) を基準関連妥当性の検討に使用しているが適切ではない。
- ・考察について、結果の繰り返しが多く冗長となっているので見直しが必要である。
- ・因子名について、用語の用い方を再度検討する必要がある。
- ・構成概念の定義を見直す必要がある。
- ・項目を精選する過程において、因子負荷量のみで判断すべきでない。
- ・結果と考察が矛盾している箇所があり、修正が必要である
- ・限界と課題で一般化可能性について言及しているが、領域(都道府県、保健所設置市、市町村)による違いや都市・地方間の違いは分析しておらず、今回は単にデータをプールして信頼性と妥当性を検討しただけなので、「一般化の可能性が示唆された」とまでは言えない

上記の指摘に対し、適切に修正されたことを審査委員全員が確認した。

本研究で作成された修正版行政保健師の職業的アイデンティティ尺度:PISP(2024)は、複数の予備研究を丁寧に積み重ねて改訂されたことで、時代に即したより簡便な尺度となり、実践・教育現場での職業的アイデンティティ向上や保健師活動を評価し得る指標として、様々な場で活用されることが想定される有意義な研究であると評価された。今後の発展性も期待される研究である。

以上により、本論文は本学学位規程第 5 条に定める博士（看護学）の学位を授与することに値するものであり、申請者は看護学における研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。